

中心市街地に 複合型施設 を計画します。 No.3

岡 企画課

福祉施設・コミュニティバスターミナル・
スーパーマーケット・公共駐車場を
複合化した施設整備



糠塚園での健康教室



子育て支援施設（イメージ）



こもろ愛のりくん

小諸市では、一時休業したスーパーツルヤ小諸店（相生町）を中心としたエリア一帯で、福祉施設、商業施設、公共交通ターミナル、公共駐車場からなる「複合型中心拠点誘導施設」の整備構想を昨年12月に公表しました。

この整備構想は、従来のコンパクトシティ施策の見直しを行った後に、策定に至ったものです。全ての市民の皆様へ、自分の居住地域に誇りをもってもらい、各地域で特色ある地域づくりを進められるよう、中心拠点で「利便性の高いまちづくり」を進め、それぞれを公共交通で連結する「多極ネットワーク型コンパクトシティ」へ施策を発展させました。整備構想も、この新たな施策の一環であり、市内全域の利便性を高めるための事業構想です。

① 整備の目的

高齢化社会に対応した「利便性の高いまちづくり」を実現することを目的に、以前から施設整備に課題を抱えていた福祉施設と、コミュニティバス「こもろ愛のりくん」の乗り換え・待合所（ターミナル）と、スーパーマーケットを1つの施設にまとめ、総合病院や金融機関等に隣接した場所に整備します。

※高齢者福祉センターである「糠塚園」は、多くの人の利用があるものの、老朽化が進み、再構築が課題となっています。また、「子育て支援施設」は、病児・病後児保育をはじめニーズが増加・多様化しており、様々な要望があります。さらに、現在の「こもろ愛のりくん」のターミナルは、駐車場所がなく、安全で円滑な運行に支障があります。

これらの施設を、市内全域の皆様が公共交通等で通いやすい場所として、中心市街地に整備します。また、中心市街地に唯一立地していたスーパーマーケット「ツルヤ小諸店」が休業したことから、スーパーマーケットの誘致に向けたテナントスペースも整備します。

「公共施設」「福祉施設」「総合病院」「商業施設」「金融機関」等を中心市街地に集約し、さらに郊外とつなぐ公共交通の結束点を再構築することで、**一度の外出で様々な日常の用事を済ませることができる「利便性の高いまち」**とし、高齢者の外出機会も増え、日常から「健康づくり」にもつながります。全ての市民の皆様にとって、将来にわたり「利便性の高いまちづくり」を実現します。